

課題対応取組み報告書

【共通】

名称	西成区地域包括支援センター					
提出日	令和6	年	6	月	20	日

カテゴリー (※主なものをひとつチェック)	☒ 地域や専門職とのつながり等	☐ 社会資源の創設（居場所づくり等）			
	☐ 認知症高齢者等の支援	☐ 自立支援・介護予防・健康づくり等			
	☐ その他（	）			
活動テーマ	2年目の実践～ケアマネつどいの場「ケアマネカフェ」～				
地域ケア会議から 見えてきた課題	当圏域の居宅介護支援事業所数は突出して多い。しかしながら多くはケアマネジャーが1人か2人の小規模事業所である。事業所数が多いこともあり、そうした小規模事業所のケアマネジャーの多くは、交流や情報交換の機会があまり持てていなかった。地域ケア会議から見えてきた課題としては認知症や精神疾患、療育的な個人要因を持つケースが増加傾向にあることが上がっており、そうしたケースの多くは支援に多くの時間を要することも明らかである。早期発見、早期支援のためにも多職種連携が求められるが、まずは個別支援の要となる介護支援専門員の横のつながりをつくり、情報交換や知識習得を通じた専門性の向上を図ることが必要と考えられる。				
対象	介護支援専門員、関係団体、専門職				
地域特性	国道26号線、地下鉄、私鉄と交通至便なエリアであり、他の地域に比べさまざまな世代が流入しマンションが多い。区役所、区民センター、郵便局本局のある地域であり、スーパー、医療機関なども徒歩圏内に点在し生活がしやすい。介護サービス事業所の数も多く、当圏域には区内142業所中74の居宅介護支援事業者がある。				
活動目標	・介護支援専門員が気軽に集まり、介護保険にとどまらない社会資源情報を知れる場を創出する。 ・介護支援専門員のニーズ把握を行い、他専門職との連携を通じて新たな社会資源創出につなげる。 ・認知症支援を通じた地域住民連携を考える。 ・地域と介護保険事業所の顔の見える関係づくりを進める。				
活動内容 (具体的取組み)	・開催日と参加者数 令和4年度 2回開催 参加者 合計61名 令和5年度 11回開催 参加者 合計300名 ・テーマ 「オレンジチーム、にしなり認知症ケアパスについて」「害虫駆除について」「地域の集いの場にはどうやって行けばいいの?」「社会資源情報紹介」「在宅医療・介護連携相談支援室について」「アルコール依存症について」など				
成果 (根拠となる資料等があれば添付すること)	・参加者へのアンケートも取りながら、月ごとにテーマを設定した。 ・冒頭にゲストに短い話をしてもらい、その内容について参加者が各テーブルで自由に意見交換をし、そこにゲストも加わって気軽に質問できるように工夫した。 ・会場には、社会資源情報、ケアマネジャーの業務に役立つような資料を揃え、参加者が情報を持ち帰ることができた。 ・ここで知り合っつながりができる介護支援専門員もいた。 ・年度末のアンケートでは、「意見交換ができた」「顔見知りができた」「リフレッシュできた」などの評価が多数得られた。				
今後の課題	参加者からは良い評価が得られているが、参加者が固定化しつつある。「テーマを見て参加するかどうか決めている」との意見もあり、より多くの介護支援専門員の参加が得られ、スキルアップにつながるよう、開催回数と内容を絞って開催していく。				
※以下は、区運営協議会事務局にて記入					
区地域包括支援センター 運営協議会開催日	令和6年7月22日（月）				
専門性等の該当 (※該当個数は問わない)	☒ 地域性 ☒ 継続性 ☒ 浸透性・拡張性 ☒ 専門性 ☒ 独自性				
評価できる項目（特性） についてのコメント * 今後の取組み継続に向けて、区地域包括支援センター運営協議会からの意見等を記載。	ケアマネジャーが1人か2人の小規模事業所が多い中、ケアマネジャーの多様な悩みやニーズを把握し、ケアマネジャーの横のつながりづくり、介護保険にとどまらない社会資源情報等を提供し、専門性の向上を図る取り組みとして高く評価できる。				